

高速道無料化社会実験について

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
道路企画課	2010年08月03日から 2010年08月22日まで	1362	921	67%

三重県 高速道・道路企画室です。

平成22年6月28日から全国の約2割の区間で実験が開始され、三重県では、伊勢自動車道の津ICから伊勢IC間及び紀勢自動車道全線の合計78kmにおいて、「高速道路無料化の社会実験」が行われています。

つきましては、三重県内における高速道路無料化の効果や影響を把握するため、アンケートを実施します。アンケート募集期間は、8月4日～8月22日です。

■ Q1 無料化社会実験の認識

三重県内における津IC以南の高速道路で無料化社会実験がされているのをご存じでしたか。

合計	921	
知っていた	870	94.5%
知らなかった	51	5.5%

■ Q2 利用状況 1

無料化社会実験が開始されてから（6月28日以降）、無料化された区間（伊勢自動車道）をどれくらい利用しましたか

合計	921	
ほぼ毎日利用	17	1.8%
週に2, 3回利用	21	2.3%
月に数回利用	359	39.0%
利用したことがない	524	56.9%

■ Q3 利用状況 2

無料化社会実験が開始されてから（6月28日以降）、無料化された区間（紀勢自動車道）をどれくらい利用しましたか

合計	921	
ほぼ毎日利用	10	1.1%
週に2, 3回利用	13	1.4%
月に数回利用	183	19.9%
利用したことがない	715	77.6%

■ Q4 利用目的

(利用した方におたずねします。Q2、Q3で両方「利用したことがない」と答えた方はQ6へお進みください。) 利用した目的は何ですか (複数回答可)

合計	406	
観光・レジャー	275	67.7%
通勤	33	8.1%
業務	90	22.2%
送迎	26	6.4%
帰省	53	13.1%
通学	2	0.5%
買い物	68	16.7%
その他	31	7.6%

■ Q5 無料化前の移動手段 (移動経路)

(利用した方におたずねします) 無料化される前はどのような移動手段 (移動経路) を利用していましたか。(複数回答可)

合計	406	
無料化前から今回の無料区間を利用している	242	59.6%
一般道を利用していた	231	56.9%
近鉄を利用していた	11	2.7%
JRを利用していた	2	0.5%
バスを利用していた	0	0.0%
無料化されたため、はじめて地域を訪れた	7	1.7%
その他	2	0.5%

■ Q6 利用車種

普段主に使用している車種はどれですか。(同乗も含む)

合計	921	
二輪車	13	1.4%
軽自動車	154	16.7%
普通車	746	81.0%
大型車	2	0.2%
その他	6	0.7%

■ Q7 無料化による外出機会の変化

無料化により、車で外出する機会が増えましたか。（増えると思いますか）

合計	921	
増えた（増えると思う）	253	27.5%
増えていない（増えないと思う）	102	11.1%
変わらない	566	61.5%

■ Q8 無料化社会実験開始前の利用頻度

無料化社会実験開始前の無料化区間のご利用頻度はどの程度でしたか。

合計	921	
6ヶ月に1回以下	515	55.9%
4～5ヶ月に1回	109	11.8%
2～3ヶ月に1回	131	14.2%
1ヶ月に1回	83	9.0%
1ヶ月に2回以上	83	9.0%

■ Q9 無料化社会実験開始後の利用頻度

無料化社会実験開始後の無料化区間のご利用頻度はどの程度になりそうですか。

合計	921	
6ヶ月に1回以下	401	43.5%
4～5ヶ月に1回	107	11.6%
2～3ヶ月に1回	160	17.4%
1ヶ月に1回	103	11.2%
1ヶ月に2回以上	150	16.3%

■ Q10 無料化による行動圏域の変化

無料化により、車を利用した行動圏域や行動距離が拡大しましたか。（拡大すると思いますか）（複数回答可）

合計	921	
伊勢・志摩方面に拡大した（と思う）	353	38.3%
東紀州方面に拡大した（と思う）	185	20.1%
津・松阪方面（三重県中部）に拡大した（と思う）	151	16.4%
四日市方面（三重県北部）に拡大した（と思う）	37	4.0%
関西方面に拡大した（と思う）	56	6.1%
愛知・関東方面に拡大した（と思う）	62	6.7%

変わらない	426	46.3%
その他	8	0.9%

■ Q11 無料化の存続

無料化を今後も続けるべきと思いますか。（エリアとは伊勢自動車道の津ICから伊勢IC間及び紀勢自動車道全線の合計78kmのことです）

合計	921	
エリアを拡大して続けるべき	384	41.7%
エリアは今のままで続けるべき	136	14.8%
エリアを縮小して続けるべき	16	1.7%
やめるべき	327	35.5%
その他	58	6.3%

■ Q12 無料化のメリット

無料化による効果は何かと思いますか。（複数回答可）

合計	921	
一般道路の渋滞が減る	374	40.6%
観光客が増える	583	63.3%
地域が活性化する	369	40.1%
環境への負荷が減少する	36	3.9%
特にない	121	13.1%
その他	28	3.0%

■ Q13 無料化のデメリット

無料化による欠点は何かと思いますか。（複数回答可）

合計	921	
インターなどでの渋滞が増える	643	69.8%
地域が衰退する	103	11.2%
事故が増える	298	32.4%
税金の負担が大きい	463	50.3%
鉄道など公共交通の利用者が減る	414	45.0%
環境への負荷が増大する	310	33.7%
特にない	32	3.5%
その他	43	4.7%

■ Q14 高速道路の利用メリット

一般道路ではなく伊勢自動車道・紀勢自動車道を利用するメリットは何ですか(複数回答可)

合計	921	
所要時間が短縮する	801	87.0%
走行距離が短くなる	192	20.8%
渋滞を回避できる	190	20.6%
定時性が確保できる(時間がよめる)	188	20.4%
道がわかりやすい	292	31.7%
道路が走りやすい	363	39.4%
その他	23	2.5%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006. Mie Prefecture